



防げる災害

1 中等の防災について

防災には三段階あります。「未然に防ぐ」「命を守る行動」「二次災害防止」です。本校での取り組みはどうでしょうか。

(1) 「未然に防ぐ」

- ・施設・設備の破損や不具合

【教員】月1回、清掃担当場所を点検しています。

【生徒】清掃場所や部活動の活動場所を常に点検し、担当教員や顧問に報告して下さい。

- ・設備・用具の転倒防止

【教員】廊下のロッカーは固定済み。各教室は年度内に固定予定です。

【生徒】ロッカーや本棚に寄りかからないようにしましょう。ゴールはウェイト等で固定して下さい。

- ・避難路としての通路幅や出入り口の確保

【教員】1階はロッカー室設置で廊下幅170cm以上を確保しました（32年度までに全階）。一足制導入時に生徒玄関と体育館玄関の靴箱を撤去して、移動がスムーズになりました。

【生徒】出入り口付近には物を置いてはいけません。また、落下物が避難を妨げる可能性があるため、生徒・清掃ロッカーやピアノの上に物を置かないようにしましょう。

(2) 「命を守る行動」

- ・シェイクアウト訓練と防災学習

【教員】身を守る初期行動を含めた避難訓練を計画します。

【生徒】居住地の自治体の実施するシェイクアウト訓練に参加しましょう。

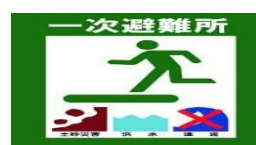
本校ではDR3メンバーによる防災学習を11月に実施予定です。

(3) 「二次被害防止」

- ・避難訓練

【教員】毎年異なる状況を設定して実施しています。今年度は1月に実施予定です。また帰宅困難を想定して二次避難グループを編成し、確認しています。今年度はグループ毎に居住地における防災について情報交換を行いました。昨年度に実施した救急救命訓練の検証から、AED設置場所を室内から廊下に移しました。

【生徒】学校滞在は365日・24時間の内の2割程度です。学校にいない8割の場面では、自分の命は自分で守るしかありません。地域では？通学中は？外出中は？



「Jアラート（全国瞬時警報システム）への対応を次ページに掲載しています」

2 Jアラート（全国瞬時警報システム）への対応について

第1段階 北朝鮮からミサイルが発射され日本に飛来して通過や落下の可能性がある場合に、Jアラートが作動して対象地域の防災無線から警報が流れ、携帯電話・スマートフォンに緊急速報メール※が配信される。

※受信設定は、各携帯会社サイトの緊急速報メール（災害・避難）のページや、消防庁HP「スマートフォンアプリ等による国民保護情報の配信サービスの活用」で確認して下さい

第2段階 建物の中、または地下に避難する。窓から離れ、身を低くして爆風や破片から身を守る。

- ・自宅では… 窓のない安全な場所に避難する。
- ・外出先では… 各自の判断で、すみやかに建物の中か地下に避難する。建物のない所では、何かに身を隠すか、頭を守って地面に伏せる。
公共交通機関内では乗務員の指示に従って行動する。
- ・学校では… 校内放送を待たずに各自の判断で、近くの校舎や体育館に避難する。
- ・校外活動中… 引率者の指示で、すみやかに建物の中に避難する。

第3段階 防災無線や緊急速報メールで、避難解除の連絡があるまで避難を継続する。

大切なのは…

「冷静な判断」 「避難を迷わない」 「素早い行動」

